信州大学 アクア・リジェネレーション共創研究センター 完成

松本キャンパスに新たな施設

信州大学が松本キャンパス（長野県松本市）で建設を進めてきた「アクア・リジェネレーション共創研究センター」が完成した。大学の特色を生かした基礎研究から社会実装まで一気通貫で実施できる研究拠点となる。建物の設計を教育施設研究所（東京都中央区、飯田順一代表取締役）、施工は建築を池田建設（東京都千代田区、古賀智道代表取締役）、電気をTOSYS（長野市、笠井澄人社長）、機械を川崎設備工業が担当した。

信州大学

学長
中村　宗一郎

アクア・リジェネレーション
共創研究センター長
手嶋　勝弥

アクア・リジェネレーション研究と社会実装の拠点に

松本キャンパス（長野県松本市）で建設を進めてきました「アクア・リジェネレーション共創研究センター」が完成しました。信州大学の特色である水循環・グリーン水素などに関する材料研究を軸に、基礎研究から社会実装まで一気通貫で実施できる研究拠点となります。県内中央に位置する松本市に本センターを設けることで県内各地をフィールドとした実証研究を推進することが可能です。

また、センターの参画機関である山梨大学では、グリーンエネルギー材料に関する最先端研究が実施されています。松本市は山梨県にも近いため、当センターにおいて、山梨大学と信州大学のグリーンエネルギー研究者の交流・共創を生み出し、両大学の相乗効果によって世界に誇る研究成果を創出していく場として期待されます。

センターは、１階にイベントスペース、２～４階には産学官の共創や材料化学研究などに活用できる28室のレンタルラボを備えています。レンタルラボには、本学の研究者だけでなく、共同研究を実施する企業や本学の研究成果を基に起業したスタートアップなどが入居できます。さらに、２～４階中央部には、コミュニケーションスペースなども設け、入居者同士で共創を生み出せる工夫が施されています。各室には電気・ガス・給排水設備のほか、５種類の特殊ガス配管・化学実験用耐薬性床材が整備されており、化学実験に欠かせない局所排気装置（ドラフトチャンバー）の設置が可能な部屋が大半を占めます。

センター最大の特色として、屋上には、次世代のグリーンエネルギーである水素を発生させる光触媒パネルを設置します。これは、太陽光と光触媒によってパネル内に充填された水を直接分解し、電気を用いずに水素と酸素を発生させることができる画期的なユニットであり、信州大学が世界で初めて開発に成功した水素発生システムです。

信州大学では、本センターをハブに企業・自治体・他大学とのつながりをさらに強め、水循環・グリーン水素研究を中心としたイノベーション創出・社会実装の中核拠点として、今後一層の研鑽（けんさん）を重ねてまいります。皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

施工のポイント

第三者災害防止を徹底

信州大学松本キャンパス内で新たな水エネルギー研究施設を建設する今回の工事は、建築・電気設備・機械設備分離発注でした。そのため3者が密にコミュニケーションを取って施工を進めました。大学環境施設部や、設計意図伝達者、監理者、入居予定部門の教授からの希望もあります。施工にあたり、お互いの意見も尊重できるよう努めていきました。

大学構内での工事のため、第三者災害防止を徹底しました。近隣には小中学校もあり、通学路を使う資機材の搬出入は、通学時間帯を避けて行いました。

一部の作業を大学周辺の道路から行う必要があり、大学が休みの日も利用した工程を組まざるを得ない状況がありました。このエリアには休日、多くの方が訪れます。そうした方々にご迷惑がかからないように緻密な工程管理が求められました。

建物の1階に位置するオープンイベントスペースの天井は、▽天然不燃木ルーバー張り▽エントランス壁▽天然木羽目板張り―などで構成しています。設計イメージを形にできるよう、事前にさまざまな施設を見学して参考にしました。不燃木は加工すると、木に赤みが出てしまい、設計イメージと異なります。木本来の素材を生かす材料を探すのに苦労しました。外壁は外装用特殊多彩模様塗料となっており、高級感のある外装に仕上がりました。

昨今の人手不足により、エレベーター工事では、県内に少ない作業員確保に苦慮しました。他職種も含めて早めに契約を結ばないと、作業員確保が難しくなると実感しました。苦労の末に本施設を完成でき、関係者の皆さまに感謝申し上げます。

池田建設株式会社
甲信越支店
工事長　臼井克彦

設計コンセプト

貸出面積の増減柔軟に

「水・グリーンエネルギーの循環」分野の活発な研究開発を促し、その活動が表出するような建物としました。１階には学内外の研究者が集い研究発表等を行えるイベントスペースを計画し、２～４階は研究者同士の交流やコラボレーションを誘発するコミュニケーションスペースを中心に研究室と会議室を計画しました。入居希望者の多様なニーズに対応するため、研究室は南北にまとめ、貸出面積の増減が柔軟に行える計画です。

大学の正門脇という立地と先進的な研究施設を内包する建物として、シンプルな形状でありながらも、リブパネル・特殊塗装・打放し仕上げ等、アクセントをつけたメリハリのある外観としました。また、色彩や素材感は松本の自然環境に溶け込むものとしました。

株式会社教育施設研究所　設計本部
計画部部長　井出邦治

エントランス（外部）

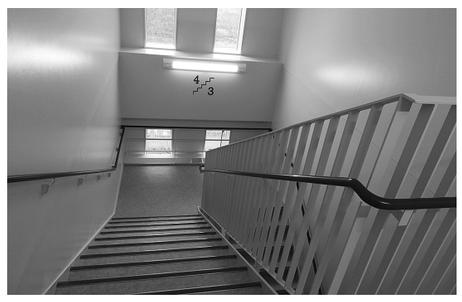
見せる研究スペース（１階）

コミュニケーションスペース（４階）

防爆実験室（４階）

イベントスペース（１階）

コミュニケーションスペース（３階）



手すり付き階段

工事概要

■工事名称：信州大学（松本）水エネルギー共創研究センター（仮称）新営その他工事
■建物名：信州大学アクア・リジェネレーション共創研究センター
■住　所：長野県松本市旭３－１－１
■建築主：国立大学法人信州大学
■設　計：株式会社教育施設研究所
■監　理：株式会社アーキディアック
■施　工：池田建設株式会社甲信越支店（建築）
株式会社ＴＯＳＹＳ中信支店（電気）
川崎設備工業株式会社（機械）
■建築面積：935㎡
■延床面積：3,618㎡
■構　造：Ｓ造
■階　数：４階
■工　期：2024年１月10日～2025年３月14日
撮影・株式会社ロココプロデュース　林広明（一部写真・池田建設提供）

建築主体工事
IKEDA CONSTRUCTION 池田建設株式会社
甲信越支店
長野県松本市宮渕 1-1-6　電話 0263-35-7417

電気設備工事
TOSYS 株式会社 TOSYS
長野市若穂綿内字東山 1108-5　電話 026-213-8920

機械設備工事
KAWASAKI 川崎設備工業株式会社
信州営業所
長野県松本市元町 3-3-7　電話 0263-33-0598

■ 内装工事
株式会社 岩野商会 松本支店
長野県松本市大字笹賀 7600-24　電話 0263-86-7255

■ 山留工事（ALEX工法）
株式会社 角藤 中南信支店
長野県松本市野溝木工 1-1-1　電話 0263-25-5520

■ 防水工事
株式会社 仙嶺
長野県松本市小屋北 1-19-6　電話 0263-58-3188

■ 住設・タイル・石・ブロック工事
炭平コーポレーション株式会社
長野県松本市大字笹賀 7804　電話 0263-26-4016

■ 金属製建具・ガラス工事
有限会社 松沢ガラスアルミサッシ販売
長野県北安曇郡池田町大字池田 1312　電話 0261-62-4007

■ 鉄骨工事
松田鐵工株式会社
長野県松本市小屋南 1-16-1　電話 0263-58-1115

■ 生コンクリート納入
丸壽産業株式会社
長野県安曇野市堀金烏川 3063-3　電話 0263-72-8570

■ 断熱・耐火被膜・吸音工事
株式会社 峯建工
長野県塩尻市大字広丘吉田 384-2　電話 0263-86-7772

■ 柱脚・外壁工事
株式会社 本久
長野市桐原 1-3-5　電話 026-241-1151

■ 木工事（材料）
株式会社 林友
長野県松本市渚 4-1-1　電話 0263-28-7700

■ 内装工事
綿半ソリューションズ株式会社
長野市南長池 205　電話 026-252-6560

祝　完成